

平成27年度第8回 福島県廃炉安全監視協議会(11月5日開催)での申し入れ事項及び回答

	申し入れの内容	回答
1	K排水路の排水先を港湾内へ付け替える工事及び新設排水路の設置について、安全かつ確実に工事を行うこと。特に工期が延長された新設排水路工事については、関連するフェーシング工事を着実に行った上で、工期内の完成に向け、しっかりと取り組むこと。	<p>K排水路の排水先を港湾内へ付け替える工事ならびに排水路新設工事について、現在、昼夜作業で実施しています。</p> <p>一部トンネル工事が含まれることから細心の注意を払いながら安全最優先のもと、K排水路付け替えについては平成28年3月末、工期を延長する排水路新設についても関連するフェーシング工事と調整を行いながら、平成28年2月末の運用開始を目標にしっかりと取り組んでまいります。</p>
2	流入する汚染源対策など、K排水路の水の放射性物質の低減対策及びモニタリングを引き続き徹底して行うこと。	<p>K排水路に流入する雨水が汚染されないための対策として、地表のフェーシングによる土砂の流入防止や道路清掃、排水路内の清掃などを計画的に実施しているところです。また、10m盤の屋根面や周辺敷地からの流入経路を調査・特定して、汚染源撤去等の必要な対策も実施してまいります。</p> <p>高線量のため、直ちに汚染源の撤去ができない箇所は、雨水を汚染源に触れさせない対策などの応急的な方法についても検討を行ってまいります。</p> <p>K排水路のモニタリングについては、現状2回/日(7時及び19時)の頻度で採取し、港湾内については毎日海水を採取しております。また港湾口に設置した海水放射線モニタにて、常時海洋の放射能濃度(セシウム及び全β放射能)の監視を行っております。</p> <p>以上の港湾内外、港湾口等におけるモニタリング結果に加えて、南放水口付近(T-2-1、T-2)、A、C、物揚げ場排水路について、日々、当社HP等で公開しています。</p> <p>これらのモニタリングにおいて、異常が確認された場合には会見や当社HPを通じて速やかに情報提供いたします。各モニタリング結果については、当社HP(以下のURL)で公開しています。</p> <p>(モニタリング結果)  <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html</a>                      毎月末には「放射線データの概要」にて、当月分の海水、排水路、地下水等の状況をトレンドグラフでお示しし概要を会見で説明しており、当社HPにて公開しています。</p> <p>(放射線データの概要)  <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/disclosure/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/disclosure/index-j.html</a></p> <p>引き続き、放射性物質の低減対策及びモニタリングを徹底してまいります。</p>
3	K排水路の枝排水路からB排水路への移送設備について、対策の効果が確実に発揮されるよう、適切な運用に努めること。	<p>地下水Bエリアの枝排水路からB排水路への移送設備については、毎日、点検を行い、対策の効果が確実に発揮されるよう万全を期してまいります。</p>
4	サブドレン・地下水ドレンの運用について、原子炉建屋等の滞留水が外部に漏れることのないように、地下水水位及び建屋内水位の管理・徹底を図ること。	<p>水位管理については、建屋水位がサブドレン水位を上回り滞留水が外部に漏れいすることがないように、水位差等の監視を行っております。サブドレン・地下水ドレンの運用にあたっては、今後も引き続き、的確な管理を行ってまいります。</p>

	申し入れの内容	回答
5	<p>地下水や海水等の分析結果や廃炉の進捗状況等について、引き続き、県民はもとより国内外に対して丁寧かつ分かり易い情報の発信に努めること。</p>	<p>地下水や海水等の分析結果については、日々、当社HPで公開しており、毎月末には「放射線データの概要」にて、当月分の海水、排水路、地下水等の状況をトレンドグラフでお示しし、概要を会見で説明するとともに当社HPにて公開しております。</p> <p>また、廃炉の進捗に係る情報発信については、全体的な進捗状況等については月末の会見（中長期ロードマップ）で、個別の進捗状況等については節目ごとに県政記者クラブでのレク等で報道機関を通じて県民の皆さまへ情報提供しており、これらの資料は、当社HPに掲載しており直接ご確認いただけます。なお、当社HPにおいては、海外の方も意識し、英語、中国語等でも情報発信を行っております。</p> <p>&lt;地下水や海水等の分析結果&gt;  <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html</a>          &lt;放射線データの概要&gt;  <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/disclosure/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/disclosure/index-j.html</a>          &lt;中長期ロードマップ&gt;  <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/roadmap/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/roadmap/index-j.html</a>          &lt;報道配布資料&gt;  <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/news/handouts/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/news/handouts/index-j.html</a></p> <p>引き続き、丁寧な情報提供に取り組んでまいります。</p>
6	<p>11/5に発生した地下滞留水移送中の漏えい、11/2に発生した高性能多核種除去装置からの水の漏えい等、汚染水に関するトラブルが多発している。原因の究明及び再発防止対策をしっかりと行うこと。</p>	<p>11/2に発生した高性能多核種除去設備からの漏えいについては、弁駆動部と弁体の接続に設置すべきアダプターが設置されていなかったことが原因であり、原因究明については確実に実施し、設備の改造も含めた再発防止対策をしっかりと実施してまいります。</p> <p>また、11/5に発生した滞留水移送設備からの漏えいについては、施工時に使用した白熱型投光器の照射熱により、ポリエチレン管を損傷させたことが原因で、ポリエチレン配管敷設エリアにおける、白熱型投光器の原則使用禁止（使用する場合は離隔距離を確保）の再発防止対策をしっかりと実施してまいります。</p>